



編集・発行

上甕中学校 P T A 研修部

所在地・連絡先

薩摩川内市上甕町中甕 191 番地 1

0 9 9 6 9 - 2 - 0 0 1 4

生徒・保護者・先生が心をひとつに

「就任の御挨拶」

P T A 会長 中間 義也



皆様こんにちは。今年度 P T A 会長をさせていただきます。中間です。会員の皆様には P T A 活動に多大な御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

上甕中学校は今年度を区切り、ひとまず休校し、生徒は来年度より里中へ通わせていただきます。

鬼塚校長先生をはじめ、教職員の皆様、学校運営協議会の皆様、地域の皆様、P T A 会員の皆様には、多忙の中、上甕中学校再編に向けて慌ただしい一年になると思いますが、御協力お願い申し上げます。

今年の上甕中学校の基本方針は、「時を守り・場を清め・礼をつくす」です。

昭和 22 年に、上甕村立上甕中学校として開校し、4, 5 6 5 名の卒業生を送り出しています。生徒には、休校までの時間、母校のために感謝の気持ちで一日一日大切に過ごしてほしいです。

P T A 会員の皆様には、引き続き御理解・御協力をお願いいたします。



授業参観・学級 P T A ・ P T A 総会の様子【4 月 2 2 日】

日本のことわざを心に刻むく岩井忠幸著より

校長 鬼塚 富貴子



本書では、先人たちの知恵や考え方、そして、人が生きていく上で様々な場面で活用できる指針となることわざを多く紹介しています。「人との付き合い方」「言葉の使い方」等々。先人たちは、生きてきた時代は違いますが、現在に置き換えても通用するものばかりです。むしろ、人としての生き方や子どもへの接し方など、親として改めて考える機会になれるよう、本書の一部を御紹介します。

〇かわいい子には旅をさせよ。(我が子にさまざまな経験をさせること。)

親は子どもをつい甘やかしがちになるが、我が子が本当にかわいかったら、親の元から離して、世の中のつらさや苦しさを経験させることが大切である。

〇二度教えて一度叱れ。(叱ることも必要だが、繰り返し教えることが大切であること。)

子どもは間違えながら成長するものだからいきなり叱るのではなく、繰り返し教えることが大切で、叱るのはたまでよい。

〇言葉は心の使い(心に思っていることは自然と言葉に表れること。)

言葉は、心に思っていることを伝える使者である。心に思っていることは、自然に言葉に表れてしまうものである。

さて、中学生は、大人でしょうか？それとも、子どもでしょうか？それとも、小人(呼び名:ことな)でしょうか？

私自身は、子育てと学校現場で生徒達と接する中で、中学生の時期が、子どもから大人に近づく大きな節目になると実感しています。だからこそ、私達大人は、中学生を子ども以上大人未満のあいまいな扱いをせず、人として生きていく上でいいことはうんと褒めて伸ばし、反対に、間違っていることはその間違いに気づくよう我が子を信じ、繰り返し教え導くことが大切だと思います。当然ながら、本校の指導・支援もそのように取り組んでいるつもりです。本校生徒 12 名、一人一人がとてすばらしい個性をもっています。

今年度も、学校と家庭が生徒一人一人の個性伸長につながる関わり方ができますよう、全職員が一体となり取り組みで参ります。何卒、上甕中学校への御理解と、御協力をよろしくお願いいたします。



よるしくお願いします！
新PTA役員あいさつ



PTA 研修部部長 中尾 真由美
昨年に引き続き、今年度も PTA 研修部長を務めさせていただくことになりました中尾です。
昨年度から内容を見直し、少ない人数でも充実した PTA 新聞になるよう、話し合いをかさねております。

本年度は、前半と後半の 2 回の発行を予定しております。PTA 会員の皆様の御協力をよろしく願います。また、学校保健委員会、給食試食会なども計画しておりますので、皆様ぜひ出席していただき、意見交換の場となればと思います。



PTA 事業部部長 梶原 健太
一年ぶりに上中 PTA 役員として 4 月を迎えました。改めて、生徒の少なさや先生方の負担の大きさを思い、保護者の一人として微力ながらバックアップできればと思いました。

私が受けた役は事業部長であり、行事としては、幼小中合同大運動会があります。子供たちも保護者も少ない状況ではありますが、どこよりも賑やかな運動会にしたいと意気込んでいます。
PTA 活動は、一人でできることではありません。保護者一丸となって上中を盛り上げていこうと思います。一年間よろしく申し上げます。

ようこそ！上甕中学校へ① 入学おめでとう

「心乃、上甕中学校への入学おめでとう」

新入生保護者 濱邊寛征・香

平成31年4月8日。憧れの上甕中学校へ入学しました。平成最後の入学式、上甕中学校最後の入学式ということで、感慨深い思いで、家族4人そろって出席しました。



姉が3年生に在ることもあり、大きな不安はなく、「早く制服を着たい!」、「早く中学校へ行きたい!」と、新しい学校生活に胸を躍らせている娘を見て、羨ましくもあり、嬉しい気持ちになりました。それと同時に、島立ちまでの3年間、私たちが私たちになりに、我が子にできることを頑張ろうと思いました。

素晴らしい自然と温かい人情に囲まれて生活できることに感謝しながら、たくさんの経験を積んでいってほしいです。そして、何事にもチャレンジして、自分の夢に向かって、心乃らしい大きな花を咲かせられるように応援したいと思います。

上甕中学校生徒の皆さん、先生方、保護者の方々、地域の皆様、どうぞよろしく願います。PTA活動、全力で頑張ります!

「上中で出来ることを」

新入生保護者 梶原 健太

上中に入学し、正直な心境を述べるとしたら、期待と不安が半々でした。学校編成による休校を来年に控え、分かっていてもどうしても先が見えない事も少なくありません。

ただ、上中生徒の皆が、一年でも二年でも上中で過ごせてよかったと思えるよう、先生方、保護者の皆様とともに、PTA活動に全力に取り組んでいこうと思います。

上中で出来る事、上中でしか出来ない事を一年間の内に凝縮し、来年からの糧となるよう進んでいきたいと思います。



「上中に入学して」

新入生保護者 中尾 真由美



長女を島立ちさせ、慌ただしく始まった、次女の中学校生活です。家でも学校でも、環境が変わり、不安定な中でも、毎日勉強や部活動を頑張っている様子に、中学生らしさを感じるこの頃です。中学校は、自分の夢に向けての準備期間だと思つて、夢愛らしく進んでいってほしいと思います。必ずやってくる島立ちの日まで、学校、地域、家族での思い出をたくさんつくっていききたいと思います。

皆様、よろしく願います。

「思い出づくり」

新入生保護者 小村 幸二

いよいよ上甕中学校での生活がスタートしました。中学校では個性を存分に発揮するともに、先生方、友だちの話をよく聞き、考え、そして、よく話し合い、「やわらかくゆつたり」と新しい自分づくりをスタートさせてほしいと思います。また、

来年度は里中へ通学することになりますが、大勢の子供達に揉まれることで視野を広げ、いろいろな経験をしてみたいです。上中でこの一年間は後にも先にも最後の一年になるので、今いる上中生全員で一致団結して盛り上げ、みんなで最高の思い出をつくりましょう。

「上甕中学校に入学して」

新入生保護者 湊 俊一

上甕中学校に入学して早いもので、数ヶ月経ちました。初めて転校する娘にとっては、不安を抱えたまま入学式を迎えましたが、学校生活が始まると、生徒や先生方、保護者の皆さんに温かく声をかけていただき、充実した学校生活が送れているようで、

親として何よりもありがた感があります。ここ上甕中学校での学びと経験が、これからの娘の成長に生かせるよう家族でサポートしていききたいと思います。これからも親子ともどもよろしく願います。



ようこそ！上甌中学校へ②

新任者紹介

「よこてイタビ」
①～⑧の番号くしの中から4つを
引き、そこに書かれた内容について
答えてみました。

〈質問内容〉

- ①好きなことば
- ②特技
- ③中学時代の部活動
- ④人生最後に食べたいもの
- ⑤チャームポイント
- ⑥生まれ変わるなら?
- ⑦自分を動物に例えると?
- ⑧中学生の時の夢

「上甌中のために」

教頭 小山田 和良



上甌中学校に赴任したのは、4月2日でした。そこで感じたことが二つあります。

一つめは、自然の豊かさです。毎朝一番に学校の鍵を開けます。その時に出迎えてくれるのが、数種類のさわやかな鳥の鳴き声です。私の心も新鮮な気持ちでスタートが切れます。二つめは、この学校に対する思いです。現在上甌中学校は本年度をもって休校という形で動きだしました。今いる生徒たちにとって、できる限り負担にならないように、アンテナを高くして頑張っていきたいと思っています。

この一年、自分自身が後悔しないように、上甌中学校のために頑張りたいと思います。

- ① 「努力にまよる天才なし」
- ④ パイナップル
- ⑥ 今の自分
- ⑦ パンダ

「上甌中学校に赴任して」

事務職員 瀬戸口 りさ



甌島生活がスタートし、あっという間に4ヶ月が経とうとしています。赴任前は、職場を異動することに不安いっぱいだったのですが、素直で明るい12名の生徒や温かく受け入れてくださる保護者、地域の皆様のおかげで、充実した日々を送っています。本場にありがとうございます。これからも、給食時間や行事等を通して生徒とのふれ合いを大切にしたいと思います。至らないことも多いと思いますが、よろしくお願ひします。

- ② ピアノ
- ⑥ 今の自分
- ⑦ ウサギ
- ⑧ 中学校の音楽の先生

「居心地の良い場所に」

司書補 石原 美姫



今年度、上甌中学校の図書室担当になりました。司書補の石原美姫です。赴任したばかりの4月は緊張の連続でしたが、日が経つにつれ生徒たちとの関わりも増え、充実した毎日を送っています。生徒たちが図書室に来るのは、本の貸出、返却の短い時間がほとんどですが、コミュニケーションを大切に、勉強や部活動など忙しい毎日の中でほっと一息つけるような居心地の良い図書室になるように頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

- ③ 帰宅部
- ④ 甘い卵焼き
- ⑥ 小型犬
- ⑧ 洋服屋さん(ショップ店員)



ALT Juan Grajeda

月に2～3回来校します。
授業だけでなく、給食時間も生徒と一緒に過ごします。

Hello, my name is Juan Grajeda Castillo. Please call me Juan. I was born in America, but my family comes from Mexico. I can speak English and Spanish, and I am trying to learn Japanese. I studied in Tokyo for one year. I am happy to be in Koshikishima because I get to experience living on these beautiful islands, which is something not many people get the chance to do. I look forward to getting to know everyone.

こんにちは、私はホアンです。アメリカ生まれで、私の家族はメキシコから来ました。私は英語とスペイン語を話せます。今は日本語を学ぶことを頑張っています。東京で一年間留学生をしたことがあり、新しい経験ができるので甌島に来て良かったです。これからも頑張りますので、よろしくお願ひします。

- ② Photo(写真)
- ⑤ Eyes(目)
- ⑥ Bear(クマ)
- ⑧ Racer(レーサー)(車)

～ 参加者の声 ～

三好さんが乳がんと診断されてからの喪失感との戦いや、自分のことより家族を思い葛藤した日々について赤裸々に話してくださり、三好さんの言葉は、私たちの胸に真っすぐに届き、心を揺さぶるものでした。

今や、日本人の2人に1人が、がんになると言われ、また、3人に1人が、がんで亡くなっており、死亡率は増加の一途をたどる現状に驚きました。まずは、がんのことを十分に知り、冷静に戦略を立てることも必要だと感じたので、私自身の勉強にもなりました。

講演を聞いて、改めて「命」について考えることができました。当たり前前に過ごしていた毎日がどんなに大切で幸せだったかを気付かされました。今、生きていることに感謝し、命の大切さを感じながら生活したいです。(PTA研修部員 西 奈津美)

限りある「命」
あなたはどっぴり生き抜きますか？

6月28日に第1回学校保健委員会が行われました。今回は、「NPO法人がんサポートかごしま」で理事長をされている三好綾さんを講師としてお招きし、「がんとともに生きる」をテーマに、がんに関する知識と予防、がん患者への理解、そして、命の大切さについて講演していただきました。



講話を聞いて、まず感じたことは、がんという病気を抱えながらも、命を輝かせながら逞しく生きる姿に元気と勇気もらったということです。私自身、講話を聞くまではがんに対して大きな不安をもっていました。生き方や時間の使い方などとても参考になりました。これからの人生、自分の命、そして時間を大切に生きていきたいと思えます。

(上飯中学校保健指導係 富山 美智隆)

生きているだけで『金メダル』😊

生きたくても生きられない人がいると知り、その人たちの分まで元気に生きたいと思った。

「誰か助けてくれる人がいるよ」という三好さんの言葉に泣きそうになり、励まされ、うれしくなり…頑張って精一杯生きたいなど心から思えるようになった。



三好さんは『薩摩川内元氣塾』で、生徒へも「命の授業」をしてくださいました。

生徒の感想
※一部抜粋



たった1つしかない命を最後まで大切にして、自分のやりたいことをできるところまでしようと思った。

1 学期写真館～時代は“平成”から“令和”へ～



1 年生一日遠足 (里中生徒との交流)



第 73 回入学式



2・3 年生修学旅行 (長崎・福岡・熊本)



地区総体 (剣道部・卓球部)



これまで私たちを支えてくださった方々への感謝の気持ちを込めて...

幼小中 P T A 合同親子レクレーション ～カレーライス作り・試食～



大勢で食べるカレーはとてもおいしかったです。
企画・運営、当日の準備等、御協力くださったみなさんありがとうございました。



研修部長
中尾 真由美

「編集後記」
皆様の御協力の
おかげで、今年度
最初の P T A 新聞
『南風』を発行する
ことができました。
原稿依頼を快く
引き受けてくださ
った方々、御協力
してくださった皆
様に、感謝申し上
げます。
今年度も P T A
会員と生徒が共に
活躍する様子を掲
載していきたいと
思っております。
少ない P 戸数です
ので、ますますの
御協力をどうぞよ
ろしくお願いいた
します。